

えんとつフェスティバル 2009

第7回

10/10^土

- ・フリーマーケット（約30店舗）
- ・模擬店（焼そば・わたあめ・ポップコーン・飲み物 他）
- ・地域の商店・地元企業の特別出店
- ・重さ当てクイズ～目方でドン～
- ・えんとつミニツアー（清掃工場の見学）
- ・クイズラリー
- ・ステージ（和太鼓、よさこい、ポップスなどを予定）
- ・参加団体等のブース その他

*内容は、都合により変わることがあります。



10時～15時

雨天の場合は、10月11日（日）に順延。
11日雨天の場合は中止。
※ペット類の入場はできません。

会場：小平・村山・大和衛生組合

（小平市中島町2番1号）

東大和市駅または玉川上水駅徒歩10分

野火止用水（緑道）

出入口

あさやけ作業所のぞみ福祉園
かたつむりの会
おだまき
3市ごみ連絡会

トイレ（男性専用）

本部

トイレ（女性専用）

組合ブース

展示スペース

トイレ（女性専用）

模擬店コーナー

焼そば
フランクフルト
やきとり
わたあめ
ポップコーン
飲み物
食器返却場所
※焼そばは皿持参で割り引きあり。

休憩スペース

ステージ

出入口

玉川上水



天神太鼓



障がい者
駐車場

自転車置き場

- ①似顔絵コーナー
- ②金魚すくい
- ③草花の販売
- ④北田工務店

子ども広場

野菜産直

フリーマーケット
スペース

会場案内



まちの話題 こたえ

写真は、小平市特産のブルーベリーのマスコット「ぶるべー」です。小平市は、日本で始めてブルーベリーの経済栽培が始まった「ブルーベリー栽培発祥の地」です。シンボルマークは、平成18年に武蔵野美術大学の学生がデザインし、平成19年に商標登録されています。愛称「ぶるべー」は、平成20年に公募により決定しました。小平市では、生産者と商工業者などからなる小平ブルーベリー協議会が中心となり、ブルーベリーの特産化、ブランド化に取り組んでいます。



主管：えんとつフェスティバル実行委員会
主催：連絡協議会、小平・村山・大和衛生組合
後援：小平市・東大和市・武蔵村山市

VOICE

編集後記

今年の夏、関東東信地方は梅雨明けの発表はあったものの、その後しばらくは雨が続きました。日本各地で豪雨被害が発生しました。これも異常気象の影響でしょうか。7月22日、日本の陸地が46年ぶりとなる真夏日の日食のときも、多くの地域で天候に恵まれました。日本時間7月31日午後11時48分、スーパースター「ペー」がアメリカ・フロリダ州のケネディ宇宙センターから打ち上げられた。3月の「スペースシャトル」打ち上げから18日間、長期宇宙滞在から帰還した若田宇宙飛行士、日食は残念ながら見えなかった。今、地球の周りの宇宙空間に「ペー」が（スペースシャトル）のようにあるのです。その正体は、壊れた、使い終わった人工衛星は、はるか遠く宇宙の隅に沈んでいく。最近ではスペースシャトルや人工衛星に衝突する危険性が増していること。今後これらの処理も検討されますが、かなりの労力やコストを要するでしょう。やはり、「こたえ」を出さないように考えなければならぬ。地球にやさしい、環境にやさしい、安全にやさしい、本心にやさしい。さあ、宇宙ステーションの滞在の時、こたえは保管しておき地球に持ち帰り処理していただきます。皆さんの家庭では、このように長期間にわたってごみを保管することはできません。

「こたえ」は、家から出せなくなるといってごみはあります。ごみの中間処理や最終処分が必要。出たものを処理するといふことではなく、出すごみを減らす。少なくともおまじないにスリムな生活をしてほしい。おまじない。

発行 小平・村山・大和衛生組合
187 0033 小平市中島町2番1号
電話 042-341-4345
平成21年9月発行

小平・村山・大和衛生組合は、小平市・東大和市・武蔵村山市、3市の市民生活から出るごみを処理する清掃工場を、管理運営する一部事務組合（特別地方公共団体）です。

再生紙を使用しています。
この紙は、リサイクルできます。有効に再利用してください。

組合のホームページアドレス <http://www.kmy-eiseikumiai.jp/>

小平・村山・大和衛生組合

えんとつ

No.25

小平・村山・大和衛生組合は、3市のごみを処理している清掃工場です。



10/10^土 第7回えんとつフェスティバル 2009開催

まちの話題 小平市



このキャラクターは何？

※答えは4ページ目の下段にあります。

ごみ箱に何も捨てない日、私たちにあるでしょうか？

日々排出されるごみや資源、その処理は待たなし、滞ることなく安全に処理しなければなりません。

小平市、東大和市、武蔵村山市（3市）と衛生組合では、持続可能な「循環型社会」を目指して、共同でごみとして処理するモノの量をさらに減らす取組、「3市共同資源化事業」の具体化を進めています。

3市共同資源化推進市民懇談会 報告書まとまる

小平市、東大和市、武蔵村山市の3市地域におけるごみの資源化のあり方を検討し、市民とともに望ましい循環型社会の形成を推進するため設置しました「3市共同資源化推進市民懇談会」の報告書がまとまりました。



市民懇談会は、「3市の資源化基準の統一に関すること」「循環型社会形成に向けた普及・啓発事業に関すること」「3市共同資源物処理施設及び不燃・粗大ごみ処理施設のあり方に関すること」の3つを議論の骨子として、平成20年5月から平成21年1月にかけて計12回の会議と3回の施設見学会を開催し、ワークショップ形式での討議などを活用しながら進められました。

具体的には、3市及び衛生組合におけるごみ・資源に関する現状を把握し、その中で市民の目線から浮かび上がる課題を洗い出し、今後の解決方針やあるべき姿について議論が重ねられました。

プラスチックの処理や施設のあり方などについて委員の意見が一致しない点もありましたが、ごみの発生抑制などに向けた市民の役割や事業者の製品づくり、そして行政による情報提供など、幅広い内容になっています。

※詳しくは、[組合ホームページをご覧ください。](#)

また、[組織市のごみ担当窓口でもご覧いただけます。](#)

循環型社会に向けた取組は私たちの課題です

私たちの暮らしは便利になり、ごみの量も種類も多くなっています。生活様式もそれぞれ異なり、年代の差、家族構成、ごみ問題に関心のある人、無い人、様々な違いがあります。

ごみは私たちが生活していく上で、どうしても生まれてくるものです。循環型社会への取組は、世代や生活様式の違いなどから、様々なスタイルがあると思います。

少しずつできることから始める。その努力が今、私たちに求められています。

循環型社会の基本は3R



ごみの処理は共同で行われています。

衛生組合を構成する3市地域では、紙、びん、缶などの資源化事業はそれぞれの市が行っています。そして資源化できない不燃ごみ、粗大ごみ、可燃ごみは、衛生組合に運ばれ共同処理されています。

衛生組合に運ばれた不燃ごみと粗大ごみは、細かく砕かれ（破碎処理）、鉄やアルミニウムなどの資源となるモノを取り除き、燃えるモノは可燃ごみと混ぜ合わせて焼却しています。破碎処理した後に残った燃えないモノ（不燃物）と、焼却した後に残る焼却灰は、日の出町にある多摩地域の26市町共同で設置されている「東京たま広域資源循環組合（資源循環組合）」に運ばれます。

資源循環組合には、埋立処分場と焼却灰のエコセメント化施設があり、不燃物は埋立処分され、焼却灰は、エコセメントの原料として資源化されています。

このように、私たちの排出するごみや資源は、それぞれの家庭で、市の資源化事業で、衛生組合で、そして資源循環組合で、循環型社会に向けた、様々な資源化の取組が行われています。

平成20年度のごみの流れ

市別搬入量	衛生組合		資源循環組合（3市分）	
小平市	資源化（鉄やアルミなど）	2,437 t	資源化（エコセメント化）	9,420 t
東大和市	搬出（資源循環組合へ）	9,570 t	埋立	150 t
武蔵村山市				



3市共同資源化事業とは

3市では、ごみを減らすための様々な事業を進めてきました。3市共同資源化事業は、これまで行ってきたそれぞれの市の取組に加えて、3市と衛生組合が共同で実施することで、さらに効率的、効果的にごみ減量を推進していこうとするものです。

3市共同資源化事業の具体化のためには、減量や資源化の目標、資源やごみの分別区分、事業実施のスケジュールなどを調整し、可能な範囲で統一していく必要があります。

3市共同資源化事業

小平市、東大和市、武蔵村山市の3市及び衛生組合の4団体は、3市共同資源化事業の具体化に向け、3市の副市長や組合助役などで構成する3市共同資源化推進本部を中心に検討を進めています。

現在、推進本部の下部組織である2つの専門部会で、平成18年度に行った調査報告書を基に、東大和市暫定リサイクル施設を活用した、容器包装プラスチック、びん、缶など資源6品目の共同処理、衛生組合の不燃・粗大ごみ処理施設の更新などについて、その課題を整理し、その解決策をまとめています。

今後、推進本部では、専門部会の報告を受け、3市共同資源化事業の具体的な内容を固めていきます。

◆平成21年度 衛生組合議会議員視察報告

衛生組合では老朽化した不燃・粗大ごみ処理施設の更新が喫緊の課題となっています。また長期的な課題としての焼却施設の更新もあります。そこで今回の行政視察は、衛生組合を構成する3市の合計人口と同規模の自治体のうち、地域環境配慮、環境啓発機能を有した施設を見学し、施設建設における課題とその解決策等について、現場職員の話をもとに次の2施設の視察を実施しました。

■所沢市東部クリーンセンター（埼玉県） 訪問日 平成21年7月23日（木）

人口約34万1千人の所沢市の東部クリーンセンターは、平成15年度に稼働を開始し、日量230トンの焼却施設、不燃・粗大ごみ、資源ごみ、プラスチックを処理しているリサイクルプラザを備える。また、焼却炉の余熱を利用した発電及び場内の冷暖房等、熱エネルギーの有効利用と屋上緑化を行うなど環境保全に努めている。

施設職員の説明（抜粋）

- 建設当時、ダイオキシンによる風評被害が発生しており、国内で最も厳しい環境規準とすることとなった。
- 焼却方式については、住民と議員で構成される「炉形式検討委員会」に選択してもらった。
- 環境整備保全委員会を設置し、周辺住民とは排ガス規制について協定を交わしている。
- “杉並病”問題などの化学物質対策として、臭気焼却（工場内の空気を焼却）、活性炭、臭突（煙突に類するもの）などの対策を講じている。



会議での説明風景

主な質疑（抜粋）

- Q 現在市民からの苦情はないのか。
- A 事前に何百回となく説明会を開催しており、現在は地元関係者と順調にしている。
- Q 発電で生じた電気は施設内でどの程度賅っているのか。
- A 施設で使う電気代は年間3億円程度を要し、そのうちの7割を賅っている。

◆小平・村山・大和衛生組合議会報告

平成21年4月臨時会（4月13日開催）

議案番号	内容	議決結果
	小平・村山・大和衛生組合管理者の選任	選任
議案第5号	小平・村山・大和衛生組合職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
	議員の派遣について	原案可決

平成21年4月第2回臨時会（4月30日開催）

議案番号	内容	議決結果
陳情第10号	3市共同資源化施設建設計画に関する十分な説明と情報の開示及び同施設建設計画の進め方に関する陳情	附帯意見を付して趣旨採択

<陳情第10号に対する附帯意見>

陳情要旨にある「私たち住民が満足できないとき」という文言は、主観的であり、陳情にはそぐわないと考える。しかし、陳情にしろされた項目について、誠実に実行すべきである。

平成21年7月臨時例会（7月2日開催）

議案番号	内容	議決結果
議案第6号	小平・村山・大和衛生組合監査委員の選任につき同意を求めることについて	同意
議案第7号	専決処分（小平・村山・大和衛生組合職員の給与に関する条例の一部を改正する条例）の承認を求めることについて	承認
議案第8号	平成21年度小平・村山・大和衛生組合一般会計補正予算（第1号）	原案可決

■いわき市リサイクルプラザ（福島県） 訪問日 平成21年7月24日（金）

人口34万5千人のいわき市リサイクルプラザは、埋立処分地に隣接する形で平成9年に開所。その後、平成14年にペットボトル以外のプラスチック製容器包装の選別施設を追加。現在、日量70t（5h稼働）の選別機能を持つ資源選別施設と市民工房、リサイクル品展示場及び会議室等の啓発施設を備える。

施設職員の説明（抜粋）

- 建設にあたっては、昭和63年から住民説明会を始め、建設までの準備に約10年を要した。
- 周辺住民のための地域利用施設として、テニスコート、公民館の建設のほか、道路、河川の修理など、周辺環境整備を行った。
- 総論賛成、各論反対の空気があり、用地選定では周辺30世帯あまりから同意を得ることが必要であった。



資源の選別作業工程を見学

主な質疑（抜粋）

- Q 焼却施設との併設は考えなかったのか。
- A 焼却施設は街の中に建設する必要があった。リサイクル施設も、街の中に建設する方が、収集の面から有利であると考えられたが、併設した場合に必要な敷地面積を街中に確保することはできなかった。
- Q 一人当たりのごみ量を950gまで減量するという目標を掲げているが、目標達成のためにどのような施策があるのか。
- A 生ごみは全体の約15%を占めており、生ごみが減量できれば目標が達成可能となる。生ごみ処理機購入費用に対し、年間100万円～200万円補助している。

◆平成20年度 情報公開の状況

請求件数	7件
公開	6件
一部公開	1件
非公開	0件
不存在	0件
公開率	100%

※公開率 = (公開 + 一部公開) ÷ (請求 - 不存在)

◆みなさんの清掃工場を見学してみませんか

衛生組合では、3市から収集された可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみを処理していますが、その量は1日当たり220t（25mプール3杯分に相当）にもなります。

各家庭から出されたごみは、その後どのように処理されていくのか、ごみの分別やごみの減量がなぜ大切なのかなど、清掃工場を見学しながら学んでみませんか？

○通常の見学コースの所要時間は70分程度です。
○見学できる日は月曜日から金曜日です（祝日を除く）。

○見学には事前予約が必要です。申込は10人以上でお願いします。（10人未満の場合は要相談）

【見学会申込先】総務課
☎042-341-4345